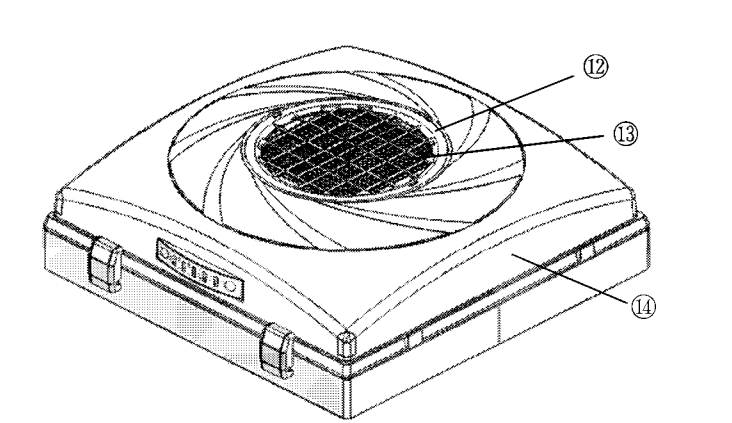


- ①電源(ACアダプタまたは電源端子)を外します
- ②DIP SW2をONにします
- ③電源をつなぎ、ON/OFF SWを押し、ファンを回転させます
- ④ON/OFF SWを押し、ファンを停止し、電源を外します
- ⑤DIP SW2をOFFにします

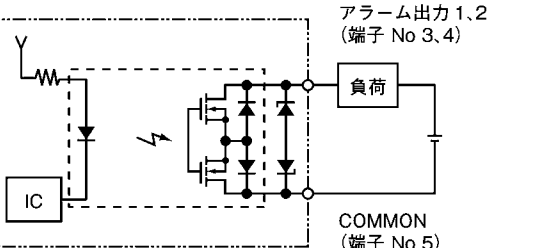


⑫プレフィルタカバー
プレフィルタ固定用カバーです。プレフィルタのメンテナンス時はまわして取り外してください。

⑬プレフィルタ
大きな埃を除去するためのプレフィルタです。定期的にプレフィルタに付着した埃を取り除いてください。メンテナンス時は、必ず電源を切り、内部のファンが止まったことをご確認ください。

⑭上部本体
HEPA フィルタ交換時に取り外してください。交換時は、必ず電源を切り、内部のファンが止まったことをご確認ください。
再度形 ZN-A4105 を起動させる時は、本体をはめた後に ON/OFF SW を押してください。

■ アラーム出力について

出力電圧	DC30V
負荷電流	50mA 以下
出力残電圧	負荷電流 10mA : 1V 以下、負荷電流 50mA : 2V 以下
出力回路	
出力論理	エアクリーンユニット イオナイザユニット 運転状態 正常運転時 運転異常時(*) アラーム出力 1 ON OFF (*)各部の名称と機能 ②電源・出力用端子 【アラーム出力について】(*1)参照 イオナイザユニット 運転状態 正常運転時 クリーニング 予告時(*) アラーム出力 2 ON OFF (*)各部の名称と機能 ②電源・出力用端子 【アラーム出力について】(*2)参照

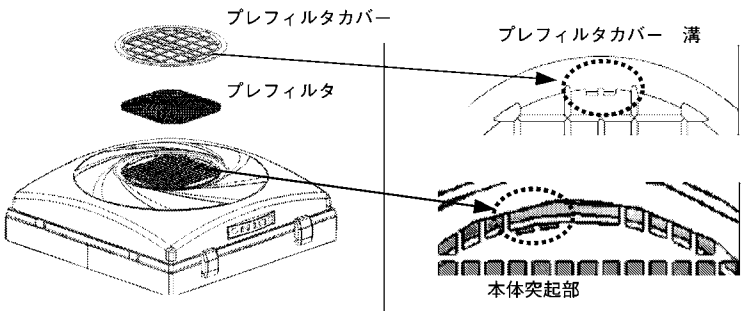
製品の電源 OFF 時、アラーム出力は ON になります。

■ メンテナンスについて

- ・プレフィルタ、HEPA フィルタ交換時は、必ず本体の電源を OFF にし、内部のファンが停止したことを確認のうえ、行ってください。
- ・HEPA フィルタ交換の際、内部の回路部には触れないでください。
- ・本体下面の格子部分のみで本体を支えたり、持ち上げたりしないでください。
- ・HEPA フィルタのフィルタ面には絶対に触れないでください。破損の原因になり、フィルタの能力を発揮できなくなります。
- ・HEPA フィルタを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になり、クリーン性能が低下します。
- ・フィルタ目詰まり表示が点灯した時（「各部の名称と機能」⑪表示灯の 3 を参照）は、吸い込み口、吹き出し口に異物などがないかをご確認のうえ、HEPA フィルタを交換してください。
- ・フィルタ目詰まり状態でご使用されますと、風量性能が低下します。
- ・プレフィルタの清掃や HEPA フィルタの交換後、フィルタ目詰まり表示が解除になるまで 1 分程度かかります。
- ・プレフィルタに付着した埃は、定期的に取り除いてください。
- ・HEPA フィルタ交換以外には、上部本体を開けないでください。

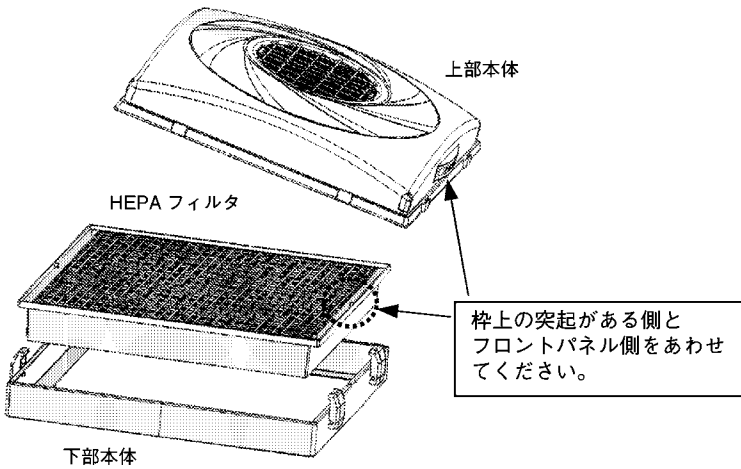
■ フィルタ交換方法

1. プレフィルタの取り外し方
 - * プレフィルタが破損した場合は新しいプレフィルタ（形 ZN9-APF41）に交換してください。
- (1) 電源を OFF にし、内部のファンが停止したことを確認します。
- (2) 上部本体より、プレフィルタカバーを左にまわしながらはずします。
- (3) プレフィルタをはずします。
- (4) プレフィルタを清掃した後、元の位置にもどし、プレフィルタカバーを右にまわしながらはめてください。この時、プレフィルタカバーの溝を本体の突起にあわせてください。最後にはずれないことを確認してください。

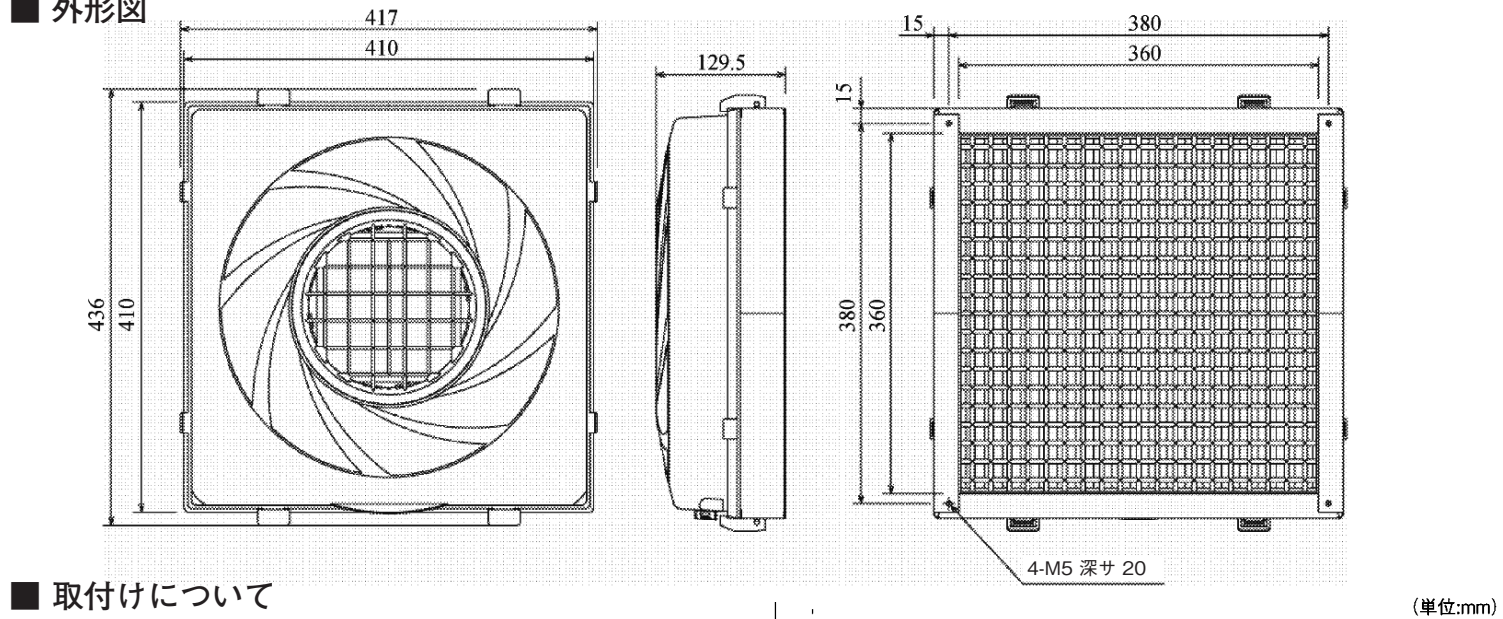


- 2.HEPA フィルタの交換
 - *交換用 HEPA フィルタ：形 ZN9-AHP41
 - *HEPA フィルタのフィルタ面には絶対に触れないでください。

- (1) 電源を OFF にし、内部のファンが停止したことを確認します。
- (2) バックルを外して、上部本体を開けます。
- (3) 下部本体より HEPA フィルタを持ち上げて取り出します。
- (4) すべる場合がありますので取り扱いには十分ご注意ください。
- (5) 新しい HEPA フィルタを下部本体にはめ込みます。
- (6) この時、HEPA フィルタの方向と上部本体の方向にご注意下さい。HEPA フィルタ枠上の突起がある側と上部本体のフロントパネル側をあわせて HEPA フィルタをはめこんでください。
- (7) 方向を間違えた状態では、上部本体が正しくはまらず正常に動作しません。
- (8) 上部本体をはめ、バックルをロックします。

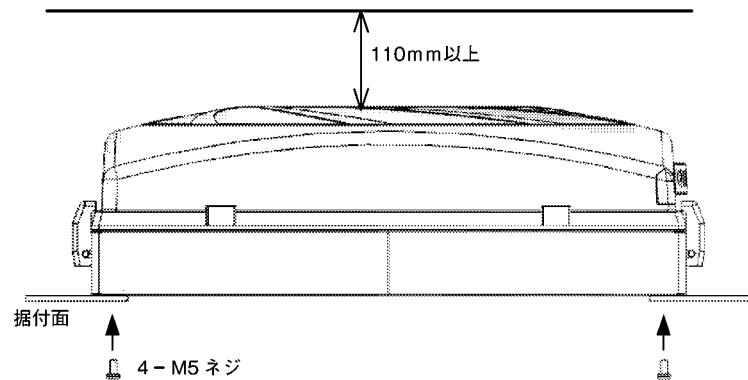


■ 外形図



■ 取付けについて

- ・本体をクリーンブース天板等に取り付けられる際は、M5 のネジを使用してしっかりと取り付けてください。（締め付けトルク 2.3～2.8N・m）
- ・上部本体は下部本体に対して 90 度回転させても取り付け可能です。ただし、上部本体を 90 度回転させる場合は必ず内部の HEPA フィルタも 90 度回転させてください。（「HEPA フィルタの交換」参照）
- ・付属の取付けネジを使用される場合、本体が設置される据付面の板厚は 14mm 以下とし、据付面の強度については十分にご確認ください。
- ・本体ネジ穴の深さは 20mm です。取付けネジをご用意される場合は、据付け面の板厚を考慮してお選びください。
- ・吸い込み口上面は性能確保のため、110mm 以上あけてください。
- ・本体下面の格子部分のみで本体を支えたり、持ち上げたりしないでください。
- ・吹き出し口を上にして取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ・本体と据付面の間の空気もれ防止に付属のパッキンをご利用ください。
- ・本製品は内部にファンを内蔵しているため、据え付ける設備やクリーンブースの強度によっては本製品と設備が共振し振動が発生することがあります。採用いただく際は、実際の設備にて検証いただくことを推奨します。またこのようなときには、本製品を据え付ける設備を補強し剛性を高めることで、振動の発生を抑制できることがあります。



■ フィルタ目詰まり検知機能について

- ・フィルタ目詰まり検知機能について（「各部の名称と機能」⑦DIP SW の 2 を参照）
- ・フィルタ目詰まり表示が点灯した時（「各部の名称と機能」⑪表示灯の 3 を参照）は、吸い込み口、吹き出し口に異物などがないかをご確認のうえ、HEPA フィルタを交換してください。
- ・フィルタ目詰まり状態でご使用されますと、風量性能が低下します。
- ・プレフィルタの清掃や HEPA フィルタの交換後、フィルタ目詰まり表示が解除になるまで 1 分程度かかります。
- ・フィルタ目詰まり表示は、風量が初期のおよそ 30～60% 程度になった時点で点灯するよう設定していますが、周辺温度の影響により変動します。
- ・DIP SW（「各部の名称と機能」）の端子 2 を ON にすることで、フィルタ目詰まり検知機能を無効にすることが可能です。

ご承諾事項

当社商品は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用を意図しておらず、お客様が当社商品をこれらの用途に使用される際には、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。

- (a) 高い安全性が必要とされる用途 (例:原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及ぶ用途)
- (b) 高い信頼性が必要な用途 (例:ガス・水道・電気等の供給システム、24時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など)
- (c) 厳しい条件または環境での用途 (例:屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など)
- (d) カタログ等に記載のない条件や環境での用途

* (a) から (d) に記載されている他、本カタログ等記載の商品は自動車（二輪車含む。以下同）向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないで下さい。自動車搭載用商品については当社営業担当者にご相談ください。
* 上記は適合用途の条件の一部です。当社のベスト、総合カタログ、データシート等最新版のカタログ、マニュアルに記載の保証・免責事項の内容をよく読んでご使用ください。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

●製品に関するお問い合わせ先
お客様相談室

0120-919-066

携帯電話・PHS・IP 電話などではご利用いただけませんので、下記の電話番号へおかけください。

電話 055-982-5015 (通話料がかかります)

■営業時間：8:00～21:00 ■営業日：365日

●FAXやWebページでもお問い合わせいただけます。

FAX 055-982-5051 / www.fa.omron.co.jp

●その他のお問い合わせ
納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。
オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

A ㊞ 2014年7月